



2種類の木製ガードレールを設置する会員ら
＝郡山町の現地で

県推進工事協会(鮎川利朗会長代行)は1月31日、鹿児島市のパレスイン鹿児島で第8回通常総会を開き、技術向上へ向けた技術講習会等への参加や防災防止の現場パトロール実施などを柱とする15年度事業計画を決めたほか、役員改選で新会長に鮎川氏(鮎川建設)を選出した。



鮎川利朗新会長

県推進工事協会総会

新会長に鮎川氏



15年度事業計画等を決めた総会
＝鹿児島市のパレスイン鹿児島で

木製ガードレール製作研究会は1月31日、日置郡郡山町の林道山ノ口線第4回の研究会を実施し、これまで検討・研究してきた2タイプの木製ガードレールを試験設置した。

今後とも衝撃試験等継続

同研究会は、伐採木などの木材利用の普及促進を図ろうと、県林業振興課をはじめ、県伊集院農林事務所森林土木課や県工業技術センター木材工業部、県森林組合連合会木材加工部、山佐木材(株)建設事業部、岩崎産業(株)木材建設工業部で昨年7

月に設立し、木材ガードレールの可能性について検討・研究を行ってきた。今回、研究を重ねてきた集成材タイプと丸棒タイプの2種類の木製ガードレールを製作し、通常ではガードレールの設置基準に適合しない安全な場所に試験的に設置。木材の普及促進と自然景観との調和を大切にしたいものの、今後の課題として車が衝撃した際の強度を確認するために実車による衝撃試験や不朽等の経年変化の調査、従来のガードレールよりも

木製ガードレール製作研究

約3倍もの費用がかかるためコスト削減に向けた研究が必要だという。県伊集院土木事務所の堂込清文森林土木課長は「採用されるまでにはクリアしなければならぬ課題が多い。継続して試験を行うとともに、設置例を増やして自然環境下における研究を続けていきたい」と語った。

県大規模小売店舗立地審議会

マイコブ出水など審議

県大規模小売店舗立地審議会(宮迫南允会長)は1月31日、鹿児島市の県庁で第16回の会合を開き、答申案10件、継続審議6件の審議をした。



慎重に審議した会合＝鹿児島市の県庁で

県緑化資源リサイクル協会

法面の緑化に活用

県緑化資源リサイクル協会(谷口勇三会長)は1月31日、始良郡栗野町の川井田地区において、植物発生材をチップ化して現地での堆肥化を図り、法面緑化工の基盤材として吹き付ける「植物発生材吹付け」について試験施工を実施し、会員をはじめ近隣の県出先事務所や市町から関係者が多数参加して、自然環境に配慮した先進技術について

関心を寄せた。昨年、県内の法面工事業者など9社で設立した同協会では、植物系廃棄物のリサイクル化を図り、より良い環境づくりを目指すという同工法を取り入れて勉強会や研修を積み重ねてきた。昨年10月には大島郡大和町の林道で初めての試験施工を行い、今回で2回目の実施となった。参加者は施工概要や工

法についての説明を受けた後、2次破砕機で細かく砕かれた伐採根や刈り草を実際に手に取ってみたり、ラス金網に吹き付けの様子をカメラに収めたり、吹き付けられた基盤材を手で触れる姿が見られ、「コスト的にはどうなのか」「現地で植物発生材が大量に発生しなかった場合はどうするのか」などと質問するなど、関心の高さが伺えた。

同工法は、現場で発生する伐採根や刈り草などを植物系系廃棄物をチップ化し、堆肥化発酵促進剤



吹き付けられた基盤材に実際に触れて確認する参加者＝栗野町の現地で

【訂正】1月29日号11面、県警察本部15年度指名願いの記事で、道路標識・標示の申請対象で「路面標識施工技能士」とあるのは、「路面標示施工技能士」の誤りでした。

お手軽で便利な
購読料のお支払い
自動振替
鹿児島建設新聞
099-227-5100へ

安心システムで21世紀の響生を追求する
(株)南栄技研
鹿児島市中山町1406-1 (099)260-6100
鹿児島市西光寺前田118-10 (099)543-2972
鹿児島市高城町1688 (099)27-1996
鹿児島市東原3172-6 (099)40-9360
鹿児島市高田町大字花見字橋山1720-18 (099)30-9680
八代市上片町1351-1 (099)35-4878
都城市都北町7411 (099)38-6120
東臼杵町門川町大字草津616-1 (099)63-5458
鹿児島市本町甲字西池上2074 (099)273-3666

“真心とほほ笑みと”をモットーに心より御奉仕致します。
南日本家具工芸株式会社
婚礼家具、造作家具、増改築、ジュータン
カーテン、他、家具総合卸
鹿児島市東開町13-30
TEL (099)269-7111
FAX (099)268-0385